

# 障害学生支援の新しいビジョン

## —学生も職員も教員も<研究者>である—

### 目 次

ごあいさつ	望月 昭
シンポジウムの前に	吉岡 昌子
<b>報告 1</b> 障害学からみた障害学生支援	
—障害学生支援への人文社会的アプローチの一例として—	
	倉本 智明…………… 7
<b>報告 2</b> “総合政策学部”でのユニバーサルデザイン教育	
—関西学院大学での試み—	高畑 由起夫…………… 22
<b>報告 3</b> 障害学生支援を開かれた<コミュニケーション>の場へ	
—行動分析学に根ざした方法論的な展開—	
	吉岡 昌子…………… 36
<b>特別報告</b> 現場で働く職員の立場から	
「障害学生支援コーディネーター」とは？	
—立命館大学を一フィールドとして—	
	二階堂 祐子…………… 50
<b>報告 4</b> 大学における障害学生支援の本来の役割と展望	
—「学習者を中心とする教育」の視点から—	
	中村 正…………… 62
<b>質疑応答</b>	…………… 74

本冊子は、2008年2月23日に実施されたシンポジウム「障害学生支援の新しいビジョンー学生も職員も教員も<研究者>である」の内容を収録したものである。当日は、5名のシンポジストによる報告と質疑応答を行い、学内外より計68名の方にご参加いただいた。